

死刑制度 井戸端会議
とかく重くなりがちな「死刑」
について、ワチャワチャと言っ
たり、聞いたり。出入り自由な
カフェ型で開催しています。

日時：本日（14日）17：30～

次回：4月18日（土）

場所：足立区勤労福祉会館

TEL：03-3838-3581

不随意筋と随意筋の違い

人が動かそうと思って動くのは随
意筋で筋肉になります。

人が動かしたり、止めたりできな
いのは不随意筋で心臓、血管、胃、そ
の他の臓器などです。

人殺しなどの犯罪も、法務大臣の
死刑執行命令サインも、刑務官に
よる死刑執行も脳の指示による手
足の動き、随意筋によって行われま
す。

人は自分の意志で手足や口は動
かせますが、死にたいと思っても心
臓は止められません。

誰でも人生一度くらいは死にたい
と思うことはありますが、体は不
随意筋によって、意識の暴走から守
られています。

死刑は他の刑罰とは違い、唯一
体を破壊する刑罰です、死刑囚は、死
ななければならぬ判決と生きた
がっている体との葛藤に向き合っ
ています。

体は意識とは別に、何もなかった

死刑執行と不随意筋

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会

東京都荒川区南千住一丁目五九一六三〇二
<https://sobanokai.hanamizake.com/>

ように、何も言わず淡々と生命活
動を行っているからです。

人は自分の意識によって生きてい
るのではなく、先に体があつて生か
されているのではないのでしょうか。

償いは自然死で

社会は裁判の判決がでるまでは、
関心がありませんが、死刑判決後、死
刑囚がどう生き、どう死んでいく
のかには、あまりに関心です。

脳によって支配される社会、脳の
支配を受けない不随意筋の臓器、
人は脳から見ると社会人ですが体
から見ると自然人です。

頭の正義による死刑でなく、執行
せず、慈悲（苦を取り除き、楽を与
える）による体の自然死をもって、
死刑執行されたと思做したらと思
う日々です。

死刑囚は死刑執行を免れたとき、
生かされていることに感謝し、関
係者への反省、謝罪、償いなどに
より一層目を向けることができるの
ではないかと思ひます。（H・T）